

## 2020 年度 あいの風とやま鉄道 利用状況等

2021 年 6 月  
あいの風とやま鉄道(株)

2020 年度のあいの風とやま鉄道の利用者数は全体で約1,137万人(前年比△375.8 万人 24.8%減)、1日当たりでは31,155人(前年比△10,182人、24.6%減)でした。

新型コロナウイルスの影響により、大幅な減少となりました。

## 1 1日当たり利用者数

2020 年度の1日当たりの利用者数31,155人は前年度を10,182人下回る結果となりました。

## (1) 利用者区分別の利用者数

利用者の区分別にみると、定期券利用者が25,342人で、うち通勤が12,400人、通学が12,942人となっており、定期外利用者は5,813人となっています。

それぞれの前年比の増減をみると、通勤が△1,728人(△12.2%)、通学が△3,437人(△21.0%)、定期外が△5,018人(△46.3%)の減少となっております。

表 1 1日当たり利用者数等

区分	2020 年度	2019 年度	差引	増減率 %
利用者数 (千人)	11,371	15,129	△ 3,758	△ 24.8
1日当たり (人/日)	31,155	41,337	△ 10,182	△ 24.6
定期利用者	25,342	30,506	△ 5,165	△ 16.9
通勤	12,400	14,128	△ 1,728	△ 12.2
通学	12,942	16,379	△ 3,437	△ 21.0
定期外利用者	5,813	10,830	△ 5,018	△ 46.3
乗車券	3,781	7,278	△ 3,497	△ 48.1
ICカード	2,032	3,553	△ 1,520	△ 42.8

※一部端数処理あり

## (2) 利用者数の月別増減率

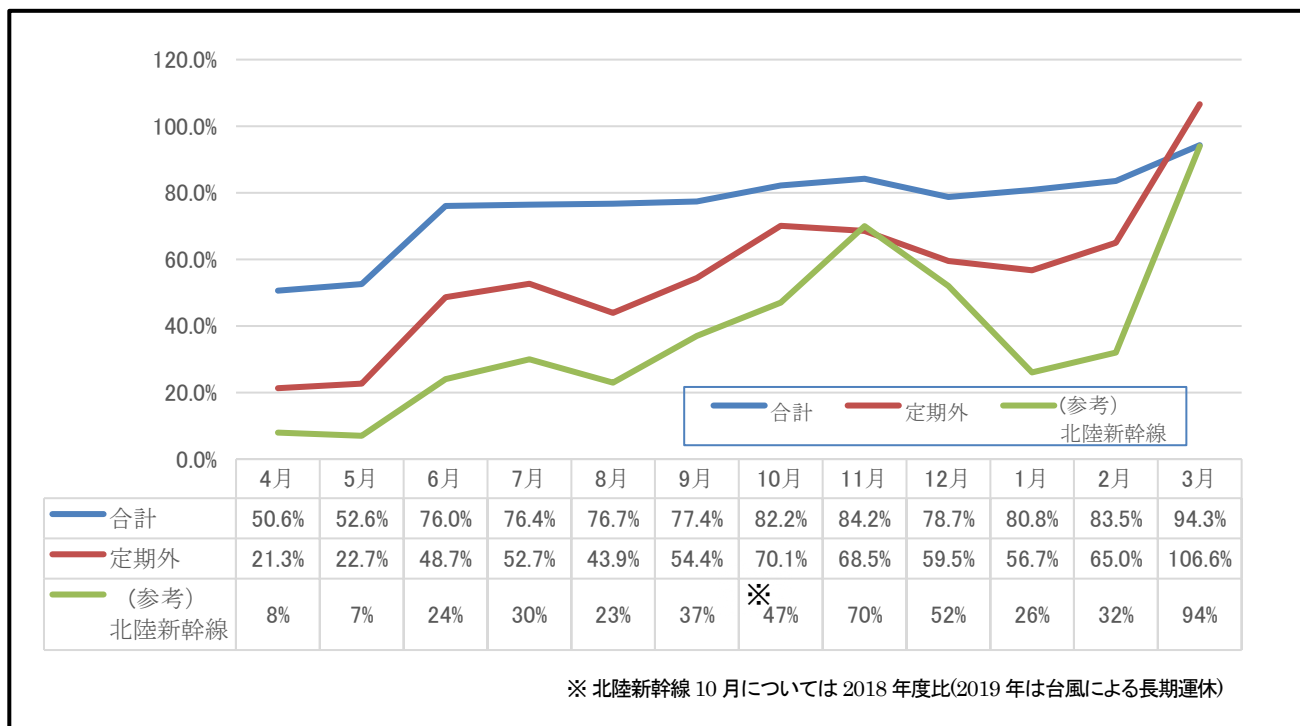
月別の状況を見ると、最初に緊急事態宣言が発動されていた、4月・5月の減少が最も大きくなっており、利用者全体では50%近くの減少となっています。

6月・7月では学校の再開に伴い、通学定期の減少率が小さくなるとともに、定期外でも一定の回復をみせていましたが、8月・9月にはコロナ第2波の到来等のため、定期外での減少が大きくなっています。

10月・11月にはコロナ感染が一定の落ち着きを見せ、政府のGOTOトラベル事業の効果もあり、定期外を中心に回復を見せていましたが、11月後半から1月までの第3波、3月後半からの第4波の到来により、減少が続きました。

図1 1日当たり利用者数の月別増減率（2020年度/2019年度）

（単位 人/日）



## 2 運賃収益

2020 年度の運賃収入額は 19 億 36 百万円で、前年同期比では 33.5%の減少となっています。

単価の高い定期外利用者の減少率が高いため、利用者数以上の減少となっています。

利用者内訳では、定期外が 48.2%、定期では通勤が 13.1%、通学が 20.6%の減少となっています。

JR切符の販売手数料収入も、新型コロナの影響によるJR線の利用が大幅に減少しているため、前年度比 80.4%の減少となっています。

表3 2020年度運賃収益額 等

(単位:千円)

区分		2020 年度	2019 年度	差引	比率 %	
旅客運輸収入 (税抜)	定期	通勤	735,752	846,835	△111,083	△13.1
		通学	375,745	473,242	△97,497	△20.6
		計	1,111,497	1,320,078	△208,580	△15.8
	定期外	乗車券類	548,833	1,099,491	△550,657	△50.1
		ICカード	276,206	493,646	△217,440	△44.0
		計	825,040	1,593,136	△768,097	△48.2
	計	1,936,537	2,913,214	△976,677	△33.5	
	マルス手数料	8,566	43,696	△35,129	△80.4	
	合計	1,945,103	2,956,909	△1,011,807	△34.2	